

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月31日			
平成15年度	事業コード	34120	電話	042-769-8259
担当部課名	都市部	都市整備	課	まちづくり推進 班
事務事業名	橋本地区都市拠点総合整備事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	広域交流都市を形成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	魅力ある広域交流拠点の整備	9年度
施策名	第2施策	新しい拠点づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

土地区画整理法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業(県市協調事業)

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
旧国鉄車両センター跡地を中心とする一団の地域について、新たな都市拠点づくりを行い、県北地域の広域交流拠点としての形成を図るため、土地区画整理事業の施行により都市基盤整備を行う。 【公共施設整備】 ・道路 13路線 37,605.01㎡ ・公園 2箇所 5,000.01㎡(内土地区画整理事業での整備は2,509.25㎡)	(面積)15.1ha (施行者) 神奈川県住宅供給公社 対象数
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
(事業施行者の事業：平成14年度については、土地区画整理事業費に対する市の事業(補助金)は無し) ・公園整備 ・街路樹の植樹	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 橋本地区土地区画整理事業	施行者：神奈川県住宅供給公社 面積：15.1ha
計画年次 9年度～14年度	総事業費：7,730,000千円

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	公共施設整備率(道路)	各年度末の供用開始済道路面積 / 施行前の道路面積 (12,208㎡) × 100	事業施行前の道路面積と各年度末時点の道路面積との比較により、公共施設(道路)の増加を測る	35	308	308		
	事業進捗率	各年度末の事業費累計 / 総事業費 × 100	事業の進捗率により各年度の活動量を測る。 (事業の進捗率は事業費により類推する)	91	100	100		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	328,600	68,175	0		
人員・時間数	1	1	1		
人件費	8,390	8,390	8,390		
その他経費	0	0	0		
合計	336,990	76,565	8,390	0	0
特定財源	0	0	0		
対象数					
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	土地区画整理事業により公共施設の整備が図られ、基盤整備が整った。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 本事業は、国、県、民間との連携により行われた。本市の新たな拠点づくりを行うための必要性は高い。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	本事業は、本市21世紀総合計画のリーディングプロジェクトである、「出会いとにぎわいの都市づくり」を行うための基幹事業であり、有効性は高い。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	他市や同一事例との比較は不可能。土地区画整理事業は、補助金の導入や地権者の負担を求めることから、効率性は非常に高い。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象者(地権者)は土地により費用負担している。換地処分の際の対象者間の不公平は、最終的に清算金の徴収・交付により精算している。対象者の設定は、事業区域の設定であり、本評価で測る内容ではないと考える。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 本事業は平成14年度で終了しており、今後の成果向上については検討不可能。土地区画整理事業一般については、ここでは測らない。	手段	本事業は平成14年度で終了しており、今後の事業費削減については検討不可能。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 土地区画整理事業は、事業手法としては確立している。個々の事業はその位置や事業に期待されること、事業に至る経緯などがそれぞれ異なるため、他自治体や他地区の事業との比較は不可能。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 本市21世紀総合計画のリーディングプロジェクトである「出会いとにぎわいのまちづくり」を行うための基盤整備事業として、本事業は道路、公園などの良質な基盤整備を行い、目的を達成した効果は大きい。橋本地区土地区画整理事業は、平成14年度で完了。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--